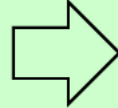


ほ場整備による作業効率の改善と直播栽培の確立による経営の安定化 ～（農）沼木頼歩～

経営体の概要

法人設立時：平成20年
基幹作物：水稲、キャベツ
経営面積：41.5ha



現在：平成29年
基幹作物：水稲、キャベツ
経営面積：46.9ha

取組の経緯と経営転換のポイント等

農地整備事業を契機に平成20年に構成員37人で農事組合法人沼木頼歩を設立した。集落のほぼ100%の農地が集約され、作業の効率化及び合理化が進められた。農業の担い手は退職者が中心となり、将来の担い手となり得る若い人たちは安心して他産業に従事する事ができるようにしている。平成20年に法人化し、集落の水田を適切に維持管理し、作業労力の軽減を目指して直播栽培に取り組んでいる。

営農改善のポイント

① 省力化

区画整理により大区画化されたほ場で、農地を集積し、大型機械も導入して作業効率は格段に向上した。また、水稲の直播栽培を21.2haで展開し、栽培技術の向上と安定した収量の確保を目指している。

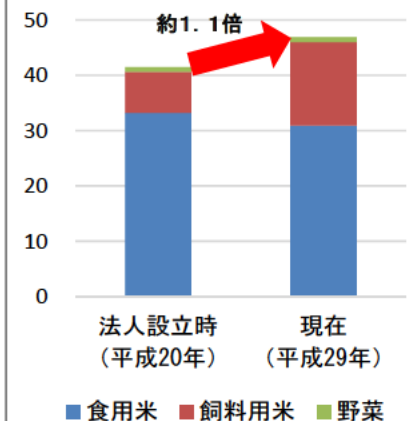
② 流通・販売の工夫

食品販売会社と水稲10ha分を契約栽培し、減農薬減化学肥料米「雁音米」を出荷している。また、毎年、仙台市内に新聞広告を掲載し直売を行っている。買い物が大変という理由で高齢者を中心に1.6t販売している。

③ 担い手の育成、確保

定年退職してから就農する人が多く、若い人は現在は他産業で働いている。今後、若い人を雇用するため通年での作業が可能となるように、全農と一緒にプロジェクトチームを作り、育苗ハウスを活用したトマト栽培を検討している。

(ha) 作付面積の変化



事業概要

事業種：国営かんがい排水事業
関係市町：大崎市、涌谷町、美里町
受益面積：5,875ha
事業期間：平成5年～平成19年
事業目的：用水改良、排水改良、区画整理
主要工事：頭首工1箇所、取水工1箇所、排水機場2箇所、用水路L=15.2km、排水路L=5.0km

位置図（宮城県）



<問い合わせ先>

東北農政局
農村振興部農地整備課
電話：022-263-1111
(内線4460)

(平成29年度調査時点)